

## 拒絶理由通知書

FJ / 松永

M061

特許出願の番号 特願2002-316250  
起案日 平成20年 1月22日  
特許庁審査官 白石 圭吾 9856 5V00  
特許出願人代理人 石田 敬(外 4名) 様  
適用条文 第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

## 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

## 記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項：1-4
- ・引用文献等：1, 2
- ・備考：

引用文献1には、ベイヤー配列単板カラーCCD撮像素子11から得られた撮像信号にRGB3板化处理を施すことにより3原色信号R, G, Bに分離し、各色信号R, G, Bにおける抜けた画素の信号を補う際にCubic補間処理手法を適用し、この場合も、G信号に対するCubic補間処理には高精度の処理を施すようにする方法が記載されている。

そして、引用文献2には、選択指定された解像度を参照して最適な解像度変換手段を選択実行する点が記載されている。

したがって、引用文献1の方法に、引用文献2の選択指定された解像度を参照して最適な解像度変換手段を選択実行する点を採用することは、当業者が容易になし得ることである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2001-094858号公報
2. 特開平5-136990号公報